

死の恐怖からの解放

2023年アドヴェント第2週

2023/12/10

クリスマスをなぜ祝うのか？

- 世界中で祝われる楽しいイベント
 - ケーキ・プレゼント・イルミネーション…
- イエスの誕生日であることは知られている
 - 本当の日付は不明
- では、なぜイエスの誕生日を祝うのか？
 - イエスの誕生は私たちにとってどんな意味があるのか？
 - イエスは何をしたのか？

ヘブライ人への手紙2章14～18節

ところで、子らは血と肉を備えているので、イエスもまた同様に、これらのものを備えられました。それは、死をつかさどる者、つまり悪魔を御自分の死によって滅ぼし、死の恐怖のために一生涯、奴隷の状態にあった者たちを解放なさるためでした。確かに、イエスは天使たちを助けず、アブラハムの子孫を助けられるのです。

ヘブライ人への手紙2章14～18節

それで、イエスは、神の御前において憐れみ深い、忠実な大祭司となって、民の罪を償うために、すべての点で兄弟たちと同じようにならねばならなかったのです。事実、御自身、試練を受けて苦しまれたからこそ、試練を受けている人たちを助けることがおできになるのです。

イエスは死の恐怖からの解放した

- 「ご自分の死」によって悪魔を滅ぼした
 - 「死をつかさどる者、つまり悪魔を御自分の死によって滅ぼし…」
- その結果、「死の恐怖」に「奴隷の状態」であった私たちを、解放して下さい
 - 「死の恐怖のために一生涯、奴隷の状態にあった者たちを解放なさるためでした」
- 死を恐れる必要はないことを、示された

どのようにして？

死んで復活されたイエス

- まず自ら十字架で死なれた

- 悪魔は自らの勝利を喜んだはず

- その死は敗北ではなく全人類の罪を精算するための死だった

- 「神はこのキリストを立て、その血によって信じる者のために**罪を償う供え物**となさいました。」

ローマ3:25

- 三日目に復活して死を無力化された

- 「死者の中から復活させられたキリストはもはや死ぬことがない、と知っています。**死は、もはやキリストを支配しません。**」6:9

そのためのクリスマスだった

- 「罪を償う供え物」となるために人となられた
 - 「民の罪を償うために、すべての点で兄弟たちと同じようにならねばならなかった」
- そもそもイエスは神ご自身である
 - 「**御子**は、神の栄光の反映であり、神の本質の完全な現れであって、万物を御自分の力ある言葉によって支えておられます」ヘブライ1:3
- 神がわたしたちを死の恐怖からの解放するために人となられた日 = **クリスマス**
 - **クリスマスは人類が死から解放された日**

私たちと同じようになられたからこそ

- 私たちと同じように苦しまれた

- 「事実、御自身、試練を受けて苦しまれた」

- 神が私たちの苦しみをご存じであることを、目で見える形で示された

- 十字架は神があなたの苦しみを知っていることの証しである

- イエスはあなたを助けることができる

- 「試練を受けている人たちを助けることができになるのです。」

クリスマスをなぜ祝うのか？

「ところで、子らは血と肉を備えているので、イエスもまた同様に、これらのものを備えられました。それは、死をつかさどる者、つまり悪魔を御自分の死によって滅ぼし、**死の恐怖のために一生涯、奴隷の状態にあった者たちを解放なさるため**でした。」

クリスマスは、神の御子がわたしたちを死の恐怖からの解放するために人となられた日だから！